

行事等案内

災害時における Zoonosis の事前・事後の対策シンポジウム

— 一再災害(1カ月～数年以内の大余震)が心配される3.11—

日時：平成24年2月25日(土) 13:00～17:00

場所：豊島公会堂 豊島区東池袋1-19-1

(JR池袋駅 東口徒歩5分)

☎03-3784-7601

主催：東京都家庭動物愛護協会、Zoonosis 協会

後援：環境省、東京都、日本獣医師会、

東京都獣医師会、栃木県獣医師会、

神奈川県獣医師会、群馬県獣医師会、

埼玉県獣医師会、

川崎市獣医師会 他(申請中)

内容：

(1) 「地震・津波による被災地と動物の救援状況」

阿部俊範(あべ動物病院・獣医師)

(2) 「災害時における Zoonosis の事前・事後の対策」

①総論

「あなたは、狂犬病、破傷風のワクチン接種済み？」

荒島康友(日本大学医学部・獣医師)

②各論

「破傷風、レプトスピラ症、他」

原 弘之(日本大学医学部・医師)

③「仲良く、安全のための犬の躰」

水越みゆき(NPO法人聴導犬普及協会・訓練士)

④「同行避難と同居生活を求めて」

山口千津子(日本動物福祉協会・獣医師)

座長：坂田壽衛(日本大学医学部・医師)

矢久保修嗣(日本大学医学部・医師)

定員：300名

参加費：500円(資料代)

その他：懇親会(準備中)

申込み：要事前予約(氏名、住所、電話番号、FAX

所属(職業)を明記の上、2月23日までに

FAX(042-592-2064))

問合せ先：譜東京都家庭動物愛護協会

☎03-3475-1748

URL：<http://www.t-kateidoubutu.jp/>

紹介

◎新刊

草地管理指標

— 草地の放牧利用編，放牧牛の管理編 —

11年ぶりに内容を大幅に見直し、集約放牧技術、放牧期間延長技術、耕作放棄地・水田放牧技術、放牧草種・品種、放牧効果等最近の放牧技術の知見を取り入れ、実践的に活用できるよう編集した改訂版。

判型：A4判 約200頁

定価：3,000円(税込)(送料別途)

問合せ：社団法人 日本草地畜産種子協会 総務部

☎03-3251-6501

FAX03-3251-6507

E-mail：info@souchi.lin.gr.jp

募 集

紹介「学会・研究会」の募集

このたび日本獣医師会雑誌では、獣医学関連分野で広く活動を行っている、学会・研究会を読者に紹介し、さらなる獣医学術の発展、獣医療従事者の人材育成に資するよう、紹介「学会・研究会」をシリーズ企画として掲載することといたしましたので、掲載を希望する学会・研究会におかれましては、下記に基づき原稿をご投稿いただきたくよろしくお願いします。

記

執筆要領：日本獣医師会雑誌投稿規程参照
(第64巻第12号参照)

原稿字数：1,000～1,600字以内
(別に写真1枚添付可)

執筆内容：以下の項目を順に記載

- 1 学会・研究会名(英文名)
- 2 事務所所在地(郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス, ホームページURL)

3 目的

4 組織(代表者名, 会員・役員構成(人数を含む))

5 沿革(設立年月日, 設立経緯, 経過等)

6 活動内容と特色(活動状況, 活動への参加方法, 入会の方法を含む)

7 文責者

その他：掲載の可否は日本獣医師会雑誌編集委員会の審査による

行事等

- 1月5日：中央畜産会新年賀詞交歓会に山根会長、
矢ヶ崎専務理事出席
：館林地区獣医師会新年会に山根会長出席
- 1月6日：横浜市獣医師会賀詞交換会に山根会長出席
：日本動物用医薬品協会新年賀詞交歓会に
矢ヶ崎専務理事出席
- 1月10日：ペット関連業界賀詞交歓会に山根会長出席

1月11日：第8回獣医師生涯研修事業運営委員会

1月13日：健全な家畜取引推進のための啓発普及事業
に係る第3回検討委員会に矢ヶ崎専務理事
出席

1月20日：第11回総務委員会

1月23日：第1回動物福祉・適正管理対策委員会

1月26日：川崎市獣医師会新春賀詞交歓会に矢ヶ崎専
務理事, 北村顧問出席

1月30日：業務執行幹部会議

紹 介

◎新刊

ドキュメント 口 蹄 疫

—感染爆発・全頭殺処分から復興・新生へ—

2010年4月20日、宮崎県都農町での感染疑い確認から8月27日の終息宣言まで、29万7,808頭の家畜の殺処分のみならず、観光、小売、飲食、運輸などの他産業や県民生活に多大な影響を与えた家畜伝染病「口蹄疫」。何がこれほどまでの爆発的な感染を招いたのか。終息から1年余を経て、現場密着の報道に全力を傾けた地元紙の目で発生から終息までの動きを丹念にふり返り、問題点を検証するとともに再発防止や復興についての論点を提供。第26回農業ジャーナリスト賞を受賞した一連の報道を再

構成するとともに、当事者に当時の思いを再取材した書。

著者：宮崎日日新聞社・口蹄疫取材班

発売日：2011年12月下旬

判型：四六判 284頁

定価：1,995円(税込)

問合せ：社団法人 農山漁村文化協会 普及局

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1

☎03-3585-1142 FAX03-3585-3668

募 集

第24回日本動物児童文学賞作品募集について ～人と動物との共存(共生)等を扱った作品の募集～

第24回日本動物児童文学賞の作品を下記により募集いたします。

【名 称】

第24回日本動物児童文学賞

【目 的】

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。)の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供達が正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

【募集期間】

平成24年1月1日(日)～4月20日(金)(当日消印有効)

【募集内容】

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。(ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。)

【応募規定】

- (1) A4サイズ400字詰め原稿用紙を縦書きで使用する。総枚数40枚以上60枚以内とする。
- (2) 原稿は、原則としてワープロ原稿とする。インク、サインペン、ボールペンでの原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。またワープロ原稿の場合は20字×20行の体裁で印字すること。
- (3) 最初の1枚は応募用紙とし、①タイトル、②応募者の氏名(フリガナ)、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話/FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿の総枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。本文は以降のページから開始し、各頁にページ数を印字(明記)すること。なお、上記

個人情報については、「第24回日本動物児童文学賞」に係る事務処理のみに使用する。

- (4) 原稿は本会にて複写するため、ホッチキス、とじ紐などで綴じないこと。

【応募資格】

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

【賞】

- | | | |
|-------------|-------|--------|
| 日本動物児童文学大賞 | 1作品 | = 30万円 |
| 日本動物児童文学優秀賞 | 2作品以内 | = 20万円 |
| 日本動物児童文学奨励賞 | 5作品以内 | = 5万円 |

【発 表】

平成24年9月下旬以降、応募者全員に通知する。

【主 催】

社団法人 日本獣医師会

【応募先】

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
社団法人 日本獣医師会

【問合せ先】

社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1695

(応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可)

【著作権・その他】

- (1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。
- (2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手390円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する(在庫数に限りがある)。

動物用ワクチン —その理論と実際—

本書は、総論、各論、将来展望の3章からなり、動物用ワクチンを総括的に解説する、わが国初の画期的な書籍。総論では、ワクチンの歴史、感染症に対する動物の生体防御、ワクチンの作用機序について難解な免疫学の進展を平易に解説。加えて各種動物でのワクチネーションプログラムやワクチンの品質管理、ワクチン許認可制度についても詳述。各論では、現在市販されている牛、馬、豚、鶏、魚、犬及び猫の主要なワクチン86製剤について、その製造株の由来、製造方法、攻撃試験成績、臨床試験成績、使用方法などを各製薬メーカーの専門家が記述。将来展望では、これから益々増えるであろう組換えワクチンなどの新規ワクチン、新規アジュバント並

びにそのデリバリーについて記述。本書は、現場でワクチンを使用する獣医師ばかりでなく、ワクチンを開発・販売する企業の研究者・販売員やワクチン学を研究・学習する大学の先生・学生にも必読の書。

編集：動物用ワクチン—バイオ医薬品研究会

発売日：2011年10月31日

判型：A4変形版 328頁

定価：9,870円（税込・送料 510円）

問合せ：文永堂出版(株)

〒113-0033 文京区本郷2-27-18

☎03-3814-3321 FAX03-3814-9407

E-mail : buneido@buneido-syuppan.com